

8. 目標達成に係る自己評価

「CO₂ 排出原単位」を目標指標とする 2012 年度の「目標値」は、「私立病院における地球温暖化対策自主行動計画のための将来目標推計」によって求められた、「エネルギー消費原単位」の対前年削減率をもとに、経済産業省が示すエネルギー使用合理化目標値（年平均 1%以上削減）等を参考に、自主努力の範囲として設定したものである。

2005 年度から 2006 年度にかけてのエネルギー消費原単位は、これまでの各種地球温暖化対策の実施によって減少している。このため、今後これら対策の持続的な実施及び拡大・充実によって、減少傾向をとることが十分予想される。そこで、目標とする「CO₂ 排出原単位」は、これまでの実績値の趨勢から推計したものである。

したがって、「7. 目標達成への取り組みの計画」に示したような、各種地球温暖化対策を持続的かつ拡大・充実して実施することにより、本自主行動計画で掲げた目標は達成される可能性が高いと考える。

9. 計画実現のために求められる各種環境整備

本自主行動計画は、病院が実現可能な範囲で主体的に取り組むべきものを中心に定めた。

しかし、本自主行動計画を実行・達成するために設備の更新や新規投資等が必要な場合については、他の産業と異なって、病院の収入の大部分を占める診療報酬が公定で、病院が自由に料金設定できない性質があること等に鑑み、診療報酬面や税制面、医療法などに規定する設備構造基準の科学的根拠に基づく見直し、更には既に行われている補助制度等の一層の環境整備を国に求めていく。

また、本自主行動計画を推進するに際しては、エネルギー消費及び CO₂ 排出と深い関係のある電力・ガス・建築設計・建設・電気・機械等各分野の企業・団体にも、積極的な理解と協力を求めていく。

特に電力会社、都市ガス会社等のエネルギー提供者に対しては、今後のフォローアップ調査に対応したエネルギー消費の実態把握に際し、病院に大きな負荷のかかる電力使用量や都市ガス使用量データの各病院への提供に、積極的な協力を求めていく。

また、太陽光発電等の CO₂ を排出しない新エネルギー源については、現状ではコスト・ベネフィット面で経済性が悪く、その導入に際しては病院に大きな負担が発生する状況にある。このため、電気・機械メーカー等関連産業に対して、大幅なコスト削減努力を図ることを求めていく。

10. おわりに

本自主行動計画は、国公立病院にあっても、適合する部分については必要に応じて実施されることが望まれる。

—参考資料—

私立病院における地球温暖化対策
自主行動計画策定のための調査結果
(抜粋)

1. 調査の目的

私立病院（開設者が国・都道府県・市町村以外の民間病院）における二酸化炭素を発生させるエネルギー消費量と、その削減活動を中心に事業所ごとに調査し、地球温暖化対策自主行動計画を策定することを目的として実施した。

2. 調査の概要

（1）調査対象

調査対象は、省エネ法の私立病院等指定工場（300床以上の病院）、省エネ法の私立病院等特定建築物（延床面積 2,000 m²以上の病院）、温対法の私立病院等特定排出者を含む病床数が 50 床以上の私立病院を対象とした。調査票は全国の 6,554 私立病院から抽出した 3,389 病院に対し郵送し、うち 973 病院からの回答があり、これを分析対象とした（回答率 28.7%）。

（2）調査内容

① 病院概要票（調査票 1）

平成 19 年 10 月 1 日時点における、病院種別、延べ床面積、許可病床数など

② エネルギー使用量調査票（調査票 2）

2005 年度・2006 年度における、エネルギー種別の使用量

③ エネルギー消費等地球温暖化対策に関する調査票（調査票 3）

エネルギー消費量削減推進体制、過去・及び今後 5 年間の大規模改修工事や新築工事の状況、運営面での省エネルギー活動 など

（3）調査期間

アンケート調査票発送 : 2007 年 10 月下旬

アンケート回収 : 2007 年 11 月 30 日

3. 調査結果

(1) アンケート調査の発送先の抽出

参表 1. 病床規模別の発送割合

病床数	全数	抽出数	抽出割合
50～99 床	2,105	663	31.5%
100～149 床	1,282	385	29.6%
150～199 床	1,139	342	28.5%
200～299 床	982	971	98.9%
300～399 床	555	534	96.2%
400～499 床	225	235	104.4%
500 床以上	266	259	97.4%
合計	6,554	3,389	51.4%

※全数 6,554 件は、「平成 17 年医療施設静態・動態調査」による。抽出数 3,389 件は、「病院要覧平成 14～16 年版(全国病院所在地が記載されている最新データ)」より抽出した病院数。このため、抽出割合が 100%を超えている抽出数がある。

(2) 調査対象の概要

参表 2. 病院種類別にみた病院数／延床面積／病床数／従事者数

病院種別	病院数	合計延床面積 (㎡)	合計病床数	合計従事者数 (人)
一般病院	753 (77.4%)	13,463,121 (84.8%)	219,116 (76.4%)	307,415
精神科病院	220 (22.6%)	2,411,666 (15.2%)	67,529 (23.6%)	47,396
合計	973 (100.0%)	15,874,787 (100.0%)	286,645 (100.0%)	354,811

参表 3. 病院種類別にみた平均延床面積／病床数／従事者数

病院種別	平均延床面積 (㎡)	平均病床数	平均従事者数 (人)
一般病院	17,879	291	408
精神科病院	10,962	307	215
合計	16,315	295	365

参表 4. 病院規模別にみた病院数／平均延床面積／病床数等

病院規模	病院数	平均延床面積 (㎡)	平均病床数	1 病床当り平均延床面積 (㎡)	平均従事者数 (人)
1,999 ㎡未満	15 (1.5%)	1,587	71	25.7	86
2,000～3,999 ㎡	116 (11.9%)	3,028	103	35.7	102
4,000～5,999 ㎡	112 (11.5%)	5,067	143	41.5	155
6,000～7,999 ㎡	104 (10.7%)	6,976	202	39.4	194
8,000～9,999 ㎡	106 (10.9%)	8,981	235	42.0	222
10,000～19,999 ㎡	286 (29.4%)	14,146	308	50.6	325
20,000～29,999 ㎡	116 (11.9%)	24,233	422	63.0	521
30,000～39,999 ㎡	50 (5.1%)	34,440	481	75.5	695
40,000～49,999 ㎡	17 (1.7%)	45,763	628	76.6	1,068
50,000 ㎡以上	44 (4.5%)	88,590	882	102.1	1,655
不明	7 (0.7%)	0	183	0.0	236
合計平均	973 (100.0%)	16,315	295	50.4	365